

## 青少年施設の指定管理者の指定について

- 1 青少年施設の名称及び指定管理者の候補者の名称、指定期間（各施設の概要は裏面）  
横浜市青少年交流センター・横浜市青少年育成センター（※一体選定・最長3年間）  
候補者：公益財団法人よこはまユース（25年4月1日～28年3月31日）

※一体選定及び指定期間を最長3年間とした理由について

両施設は、設置目的を共有し施設の構成が似ていることや、両施設が連携することで、事業の相乗効果が期待できることから、一体選定としました。

また、青少年交流センターについては、耐震性能がBランクと診断されており、建物を使用し続ける場合は27年度までに耐震化が必要ですが、耐震補強や建替えには多額の費用がかかると試算されており、統廃合や機能移転も含めた検討を行う必要があります。

そこで、最長で、耐震化の完了期限である 27年度末まで施設を活用しながら、その間に、青少年施設を含めた青少年施策全体のあり方を検討することとしました。

検討の進捗状況によっては、期間を短縮する可能性もあることから、指定期間を最長3年とし、募集要項等にその旨を明記し公募しました。

## 2 公募・選定の経過

- 第1回選定評価委員会（24年7月6日）  
委員長選出、公募要項・共通業務の基準・選定評価基準の確定
- 公募書類配布、現地見学・公募説明会、質問受付（24年7月19日～8月24日）
- 応募書類受付（24年8月27日～8月31日） 1団体から応募あり
- 要項上の応募資格等の確認（24年9月）
- 第2回選定評価委員会（24年10月5日） 審査・選定評価  
ア 選定方法  
書類審査、財務状況診断等、提案内容に基づくプレゼンテーション  
イ 評価方法  
基本方針、事業計画、管理運営等の評価基準により総合評価を行った。  
（各委員配点100点 委員全員の合計点をもって評価点とした。）

## 3 選定評価委員会委員

委員長	福田 幸男	横浜国立大学教育人間科学部 教授
副委員長	内海 宏	特定非営利法人アクションポート横浜 理事
	竹原 和泉	横浜市東山田中学校コミュニティハウス 館長
	為崎 緑	公益財団法人けいしん神奈川 理事
	辻 弘枝	特定非営利法人CAPかながわ 理事長

## 4 候補者に関する評価・意見、選定結果

3年間の事業の実施方法、施設の管理・運営等について審査した結果、施設運営の実績や成果、その課題を踏まえた施設の管理運営、青少年の自立支援や育成等に関する今後の取組など、提案内容の堅実性・実行力などを評価した。

候補者	点数
(公財)よこはまユース	369/500

裏面あり

施設名称 青少年交流センター	
目的（機能や役割）	青少年の自主的な活動や交流を支援し自立促進や育成を図る。
施設内容	多目的利用室、会議室、和室、レクリエーションホール、音楽スタジオ、青少年交流スペース等
開館時間	9:00～22:00（休館日：毎月第2月曜日）
指定管理者	公益財団法人よこはまユース（H23.4.1～H25.3.31）
運営体制	センター長1人、職員2人 有期職員1人、コーディネーター（アルバイト）11人
基礎情報	
設置根拠	青少年施設条例
所在地	西区老松町
敷地面積	1103.91㎡
延床面積	3,629.97㎡

施設名称 青少年育成センター	
目的（機能や役割）	青少年指導者・育成者の養成や活動支援を通して、青少年育成活動の推進を図る。
施設内容	研修室、ミーティングルーム、和室、音楽スタジオ、活動支援室
開館時間	月～土9:00～22:00、日・祝9:00～17:00 （休館日：主に第2・第4月曜日、祝日の場合は翌日）
指定管理者	公益財団法人よこはまユース（H23.4.1～H25.3.31）
運営体制	センター長1人、職員2人、アルバイト7人
基礎情報	
設置根拠	青少年施設条例
所在地	中区住吉町
敷地面積	2208.45㎡（関内ホールとの複合施設）
延床面積	10,098㎡のうち、985.81㎡（ 〃 ）
構造	鉄筋コンクリート造 関内ホール 地下1・2階を使用
開館	昭和61年9月（築25年）